



春日クリニック

25周年企画

リレーエッセイ⑧ 読者投稿 柳楽 雅子 さん



春日クリニックの思い出

私は、女性外来の受診をきっかけで、安心して話せる信頼できる主治医・院長先生と出会えました。

院長先生には、リンパ節結核の早期発見に導く診断もしていただきましたし、橋本病治療のため月1回定期受診を受けていますが、診察時間は私の介護苦労話も笑顔で受け入れてくださる癒しの時間にもなっています。

また、「おりひめの会」にも参加し、多くのことを楽しく学んでいます。そこは、自分の今を見つめ直し、これからを考える場であり、更に、春日クリニックの長年にわたる地域医療に取り組む姿勢を知ることができ、介護保険講座等を企画し市民力を上げていきたいと活動している私にとって、学びの場でもあります。



柳楽の25周年の市民講座

柳楽 雅子 さん
市民講座にて

地域包括ケアについて、理事長先生に是非お話しをしていただきたくセミナーを企画した折には、快く引き受けて頂き、充実した内容にいただきました。

私は、介護施設の評価の仕事もしておりますが、評価において一番重要な項目である「理念の共有」という言葉が、春日クリニックの職員みなさんの笑顔や対応をみる度に浮かびます。

地域のニーズに沿った医療・介護をなさっている春日クリニックの皆様、今後とも宜しくお願い致します。

⇒ 次回 読者寄稿その⑥



職員発表・講演会情報

みんなで支え合う春日の暮らし

● 理事長 清田 武俊

2月13日(火)平成29年度みんなで支え合う春日の暮らし～安全・安心な街づくりをめざして～と題したシンポジウムが春日コミュニティセンターにて開催されました。校区社協の大森会長をはじめ、民生児童委員協議会の中島会長、いきいきサロン藤江会長、グッドライフ熊本駅前の平尾施設長がシンポジストとして登壇。清田理事長はコメンテーターとして参加しました。

シンポジストからは、春日の街みんなで暮らしを支え合っていくための活発な地域づくりについて提言がありました。



「地域みんなで助け合っ
て暮らし、お金をかけず
に最期を迎える。自分の死に方は自分で決める
のが地域包括ケア」と清田理事長。たくさんの方
が参加されており、春日校区の繋がりの強さ
を感じました。